



緊急対応 & 避難手段

地震 (揺れが大きい)	火災
<ul style="list-style-type: none">地震が発生した、もしくは地震速報を発表した場合、児童を机の下へ潜るように指示する。 “地震だ。地震だ。直ちに、しゃがんで、頭を守って、つかむこと。しゃがんで、頭を守って、つかむこと。今すぐ、床へしゃがんで、机の下に頭を守って、机をつかむこと。しゃがんで、頭を守って、つかむこと。”トイレや教室以外の場所にいる児童は、近くの机や戸の枠の下に頭を守るように事前に指導すること。学校外の場合は、適切に頭を守る指示をして、公園まで辿り着く。自衛消防隊各班長が集まり、消防計画により役割を果たす。地震の揺れが収まったら、担任教師は児童に防災頭巾を着用させ、教室の出口で並ばせてから、人数を確認する。担任教師は、救急箱と生徒名簿を持って、最も直接に安全な避難路を通過して外へ誘導する。避難中には、児童は押したり、走ったり、話したり、靴を履き替えたりしないこと。全クラスは、学校前の公園で集まる。避難ができてから、担任教師は再度人数を確認する。初等部校長は2階全域を、学長は1階全域を確認する。学長は、生徒・職員名簿を持っていく。(常に情報を更新すること)避難が遅れている、もしくはできない人がいれば、直ちに救急隊員に伝える。生徒と職員全員の安否が確認されたら、学長等からの指示を待つ。 <p>➤ (地震の強さにより、西山小学校にての避難所へ移動することもある。)</p>	<ul style="list-style-type: none">火災を発見した職員は、ホール前の1階または2階の壁に設置してある火災報知機へ行く。報知機の小さな開け口を開き、中の黒いボタンを押す。小さなレバーを上引き、ベルが鳴る。学長横の通報専用電話機を使って、直ちに消防署へ連絡する。自衛消防隊各班長が集まり、消防計画により役割を果たす。ベルが鳴ると、担任教師は児童に教室の出口で並ばせてから、人数を確認する。生徒は、防災頭巾を被り、ハンカチで口・鼻を押さえる。トイレや教室以外の場所にいる児童は、安全に校内へ避難するように事前に指導すること。担任教師は、救急箱と生徒名簿を持って、最も直接に安全な避難路を通過して外へ誘導する。避難中には、児童は押したり、走ったり、話したり、靴を履き替えたりしないこと。全クラスは、学校前の公園で集まる。避難ができてから、担任教師は再度人数を確認する。初等部校長は2階全域を、学長は1階全域を確認する。学長は、生徒・職員名簿を持っていく。(常に情報を更新すること)避難が遅れている、もしくはできない人がいれば、直ちに救急隊員に伝える。生徒と職員全員の安否が確認されたら、管理者からの指示を待つ。